

珠玉の名品

特別展示：ふくやま書道美術館特別展「生誕120年 桑田笹舟展」連携企画

桑田家コレクション～古筆の美

2020年4月9日(木)－6月28日(日) 会場：常設展示室

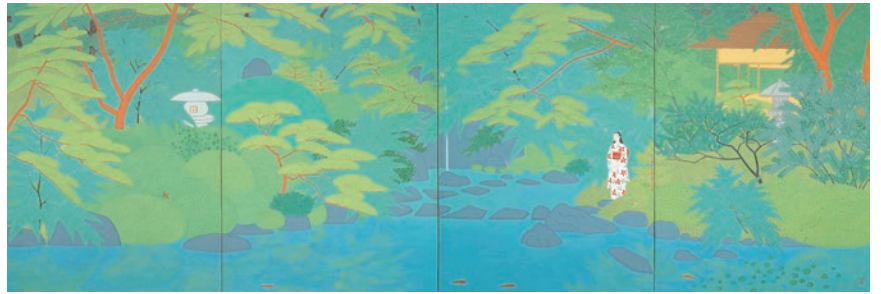
※月曜休館 ただし、5月4日(月・祝)は開館。5月7日(木)は休館。

※ギャラリートーク 4月11日(土)、5月8日(金)、6月6日(土) いずれも午後2時(第2室から)

はじめに

ふくやま美術館は、本年11月で開館32周年を迎え、収蔵作品は、現在約3,200点(寄託作品を含む)を数える。収蔵作品の分野別では、日本画、洋画、彫塑・立体、工芸、書、写真など幅広く収集している。収集方針においては、開館当初より福山・府中広域関連作家の作品から瀬戸内圏関連作家、そして日本の近・現代美術からフィールドを広げたイタリアを中心とするヨーロッパ近・現代美術まで幅広く収集を行ってきた。近年においては、購入以外にも篤志家による珠玉ともいふべき作品の寄贈により、コレクションもさらに充実してきた。

この度は、ふくやま書道美術館特別展示の連携企画として、福山市名誉市民で、かな書家の桑田笹舟のご遺族より福山市に寄贈を受け、ふくやま書道美術館所蔵となった、古筆コレクションを第2室で初公開するとともに、第1室で、当館コレクションの核となる岸田劉生をはじめとした日本の近現代美術作品22点、第3室でヨーロッパの近現代美術作品21点を展観する。



4. 堀出英雄《泉庭》1950年

郷土ゆかりの日本画家から日本の近現代美術

広島県福山市に生まれた堀出英雄(1912-2001)は、帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)日本画科に学び、在学中から奥村土牛に師事し日本美術院展覧会(院展)で活躍した日本画家である。

《泉庭》(No. 4)は、1950年、第35回日本美術院展に出品され、日本美術院賞と大観賞を受けた堀出の代表作である。この庭は、東京・白金台にある実業家・久原房之助(1869-1965)の邸宅の庭園(現在の八芳園)を描いたものである。庭樹に小鳥が遊び、池水に鯉が泳ぎ、新緑の庭に少女が一人佇んでいる。四曲一隻の屏風に、清新な空気に包まれた静寂の世界が凝縮されている。

岸田劉生(1891-1929)は、文明開化が進む東京の「新開地」銀座に生まれた。1911年、ヨーロッパの最新の芸術を紹介していた文芸雑誌『白樺』と出会い、印象派以後の画家たちを知り、強い影響を受けるなど、西洋の新しい表現と日本の伝統美術との相剋に立ち向かった画家の一人であった。39歳という短い生涯であったが、その足跡はきわめて大きなものであった。

《麗子十六歳之像》(No. 12)は、劉生が、愛娘の麗子を1929年の正月に描いたものである。晴れ着姿の麗子は白い額にすっきりと引かれた眉、目の輝きは少女というよりも一人の女性としての雰囲気漂わせている。画面は縦長で浮世絵の大首絵風の表現となっており、髪飾りや周囲の朱色の飾り縁などを丹念に描いている。これは劉生が浮世絵に傾倒して、その現実的な風俗の美を油彩画によって表現した最後の麗子像である。

絹谷幸二(1943-)は、奈良県に生まれ、1966年に東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻を卒業後、同大学院で壁画を専攻し、アフレスコ(フレスコ画)の研究に邁進した。1971年には、イタリアへ留学してヴェネツィア・アカデミアに入学し、ブルーノ・サエッティに師事。帰国後は、画家の登竜門と言われた安井賞を当時の最年少記録で受賞。アフレスコ技法による色彩豊かな画面、そして劇画の要素を絵画表現へ取り込んだ、エネルギーに満ちた独自の画風を確立した。

《花輪空富嶽》(No. 18)は、当館で開催した特別展「絹谷幸二の世界 - 富士山を中心に -」(2020年1月25日-3月15日)の出品作で、これを縁に寄贈されたものである。薔薇や百合など花輪の中央に大きく富士山が描かれた華やかな作品である。

第2室の古筆、第3室のヨーロッパの近現代美術の作品とあわせてご覧いただきたい。

(学芸課次長 大前勝信)



12. 岸田劉生《麗子十六歳之像》1929年



18. 絹谷幸二《花輪空富嶽》2009年

第1室 珠玉の名品

| No. | 作家名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 縦×横×奥行(cm) | 寄託(*) |
|-----|--------|-----------|---------------------|-----------|----------------|----------------|-------|
| 1 | 森谷南人子 | 1889-1981 | 内海初夏(高島) | 1944 | 紙本着色 | 99.3×134.4 | |
| 2 | 奥田元宋 | 1912-2003 | 若葉の頃 | 1946 | 絹本着色 | 174.0×268.0 | |
| 3 | 児玉希望 | 1898-1971 | 暮春 | 1932 | 絹本着色 | 161.0×164.6 | |
| 4 | 塩出英雄 | 1912-2001 | 泉庭 | 1950 | 紙本着色 | 149.4×444.8 | |
| 5 | 白瀧幾之助 | 1873-1960 | 帽子の婦人 | 1905-10頃 | 油彩、カンヴァス | 72.3×53.0 | |
| 6 | 児島虎次郎 | 1881-1929 | ベルギー、ガン市郊外 | 1909-12頃 | 油彩、カンヴァス | 64.5×80.5 | |
| 7 | 鹿子木孟郎 | 1874-1941 | フランス風景 | 1917頃 | 油彩、カンヴァス | 39.9×45.5 | |
| 8 | 岸田劉生 | 1891-1929 | 橋 | 1909 | 油彩、カンヴァス | 33.6×45.7 | |
| 9 | 岸田劉生 | | 静物(赤き林檎二個とビンと茶碗と湯呑) | 1917 | 油彩、カンヴァス | 33.7×45.8 | |
| 10 | 岸田劉生 | | 晩春の草道 | 1918 | 油彩、カンヴァス | 45.0×36.0 | |
| 11 | 岸田劉生 | | 新富座幕合之写生 | 1923 | 油彩、カンヴァス | 31.9×41.0 | |
| 12 | 岸田劉生 | | 麗子十六歳之像 | 1929 | 油彩、カンヴァス | 47.2×24.8 | |
| 13 | 安井曾太郎 | 1888-1955 | 手袋 | 1943-44 | 油彩、カンヴァス | 89.3×72.8 | |
| 14 | 梅原龍三郎 | 1888-1986 | 仙酔島の朝 | 1932頃 | 油彩、カンヴァス | 65.5×80.5 | |
| 15 | 林武 | 1896-1975 | 妻の像 | 1927 | 油彩、カンヴァス | 90.9×72.7 | |
| 16 | 東郷青児 | 1897-1978 | 星座の女 | 1944 | 油彩、カンヴァス | 235.0×89.0 | |
| 17 | 小磯良平 | 1903-1988 | 婦人像 | 1969 | 油彩、カンヴァス | 52.0×44.0 | |
| 18 | 絹谷幸二 | 1943- | 花輪空富嶽 | 2009 | ミクストメディア、カンヴァス | 72.7×91.0 | |
| 19 | 野田弘志 | 1936- | マンゴー | 1970 | 油彩、板 | 36.3×51.6 | * |
| 20 | 青木敏郎 | 1947- | 貝とソルダム | 1990 | 油彩、カンヴァス | 53.0×41.0 | |
| 21 | 北大路魯山人 | 1883-1959 | 金銀彩武蔵野鉢 | 1925-1934 | 陶 | 15.2×27.5×27.5 | |
| 22 | 金重陶陽 | 1896-1967 | 一重切花入 | 1964 | 陶 | 20.0×13.0×11.0 | |

第3室 ヨーロッパ美術

| No. | 作家名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 縦×横×奥行(cm) | 寄託(*) |
|-----|----------------|-----------|--------------------|---------|---------------------------|-----------------|-------|
| 23 | ギュスターヴ・クールベ | 1819-1877 | 波 | 1869 | 油彩、カンヴァス | 34.5×51.8 | |
| 24 | ジュゼッペ・パリッツィ | 1812-1888 | 羊飼いと羊の群れの風景 | 1870頃 | 油彩、カンヴァス | 49.0×72.0 | |
| 25 | フィリップ・パリッツィ | 1818-1899 | ザンポーニャ奏者 | 1862 | 油彩、カンヴァス | 70.0×60.0 | |
| 26 | ジョヴァンニ・セガンティーニ | 1858-1899 | 婦人像 | 1883-84 | 油彩、カンヴァス | 120.0×87.0 | |
| 27 | メダルド・ロッセ | 1858-1928 | 門番の女性 | 1883 | ワックス、石膏 | 37.0×30.0×17.0 | |
| 28 | ウンベルト・ボッチオーニ | 1882-1916 | カフェの男の習作 | 1914 | 油彩、カンヴァス | 58.0×46.0 | |
| 29 | ジャコモ・パッラ | 1871-1958 | 輪を持つ女の子 | 1915 | 油彩、カンヴァス | 51.0×60.5 | |
| 30 | マルク・シャガール | 1887-1985 | 青い村 | 1981 | 油彩、カンヴァス | 24.0×35.0 | |
| 31 | マルク・シャガール | | 青い花瓶 | 1978 | 油彩、テンペラ、カンヴァス | 60.0×73.0 | |
| 32 | パブロ・ピカソ | 1881-1973 | 近衛騎兵(17、18世紀の近衛騎兵) | 1968 | 油彩、パネル | 81.0×60.0 | * |
| 33 | パブロ・ピカソ | | りんごとグラス、タバコの包み | 1924 | 油彩、カンヴァス | 16.0×22.0 | |
| 34 | モーリス・コトリロ | 1883-1955 | 酪農場 | 1916 | 油彩、板 | 51.0×65.0 | |
| 35 | アルベール・マルケ | 1875-1947 | 停泊船、曇り空 | 1922 | 油彩、カンヴァス | 38.4×46.0 | |
| 36 | ジョルジュ・ルオー | 1871-1958 | コピュ王 | 1939頃 | 油彩、カンヴァス | 45.5×68.5 | |
| 37 | アンドレ・ドラク | 1880-1954 | 婦人像 | 1925 | 油彩、カンヴァス | 61.0×73.8 | |
| 38 | ソーニャ・ドローネー | 1885-1979 | 色彩のリズム | 1953 | 油彩、カンヴァス | 100.0×220.0 | |
| 39 | ジョルジョ・デ・キリコ | 1888-1978 | 広場での二人の哲学者の遭遇 | 1972 | 油彩、カンヴァス | 80.0×60.0 | |
| 40 | マリオ・シローニ | 1885-1961 | 憂鬱(メランコリー) | 1919-20 | クレヨン、グワッシュ、紙、メゾナイト(硬質繊維板) | 33.0×25.7 | |
| 41 | ルチオ・フォンタナ | 1899-1968 | 空間概念-銀のヴェネツィア | 1961 | 油彩、ガラス、カンヴァス | 60.0×50.0 | |
| 42 | パトリック・ファッツィーニ | 1913-1987 | 風(踊り子) | 1956-60 | ブロンズ | 139.0×80.0×90.0 | |
| 43 | ファウスト・メロツィ | 1901-1986 | 対位法XI | 1974/84 | 真鍮 | 50.0×50.0×15.0 | |

茶室 松本コレクション展示室

| No. | 作家名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 縦×横×奥行(cm) | 寄託(*) |
|-----|------|-----------|-------------|---------|------|----------------|-------|
| 44 | | | 織部鳥籠香合 | 江戸時代 | 陶 | 6.6×3.8×3.8 | |
| 45 | | | 丹波耳付水指 | 江戸時代 | 陶 | 27.8×20.0×20.0 | |
| 46 | | | 利休瀬戸茶入 元伯在判 | 江戸時代 | 陶 | 9.0×6.3×6.3 | |
| 47 | | | 斗々屋茶碗 銘深山木 | 朝鮮王朝時代 | 陶 | 6.3×12.7×12.7 | |
| 48 | 古田織部 | 1543-1615 | 茶杓 | 桃山-江戸時代 | 竹材 | 18.0×1.0 | |